

教師力養成講座

県の教育課題と教師に求められる資質・能力
について

群馬県教育委員会義務教育課
教科指導係 高橋 学

1

2 群馬県教育ビジョンについて (第4期群馬県教育振興基本計画)



2

第4期 群馬県教育振興基本計画
群馬県教育ビジョン

最上位目標

自分とみんなのウェルビーイングが重なり合い、高め合う共生社会へ向けて
一ひとりひとりがエージェンシーを発揮し、
自ら学びをつくり、行動し続ける「自律した学習者」の育成—

自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す

人は、誰しも、生まれついて自分と社会を
より良くしようと願う意志や原動力を持っている。
= エージェンシー

3

ウェルビーイングとは？

多様な個人が、それぞれの幸せや生きがいを感じられることであり、身体的・精神的・社会的に良い状態にあること。幸せや満ち足りた状態(happy)だけでなく、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を表します。
well (身体的・精神的・社会的に良好な) + being (状態)

群馬県が定義する 学習者エージェンシー

人が誰しも生まれついて持っている自分と社会をより良くしていこうと願う意志、原動力

4

現状の課題

- これまで以上に先行きが不透明とされる時代に必要な力は、どんなものなのか？
- 私たちの（子どもたちの）主体性や社会参画への意識が弱いとされるのは何故か？
- 良かれとの思いから、失敗しないように先回りして与えすぎる教育が、生まれつき持っていた自ら成長する力（エージェンシー）を損なっていたのではないか？

5

先行き不透明な時代



技術革新
の速さ



多様化



想定外の
出来事



6



日本の一人当たりGDPは2000年 世界2位→2021年 27位
1990年からの伸び率も1.5倍と停滞
米は2.9倍、独は2.5倍、韓は5.3倍

求められる人物像

<高度経済成長期>

平均的な知識・技能 礼儀正しく、真面目

みんなと同じことができる 言われたことをできる

「はじめから答えの決まっている問題を素早く解ける力」



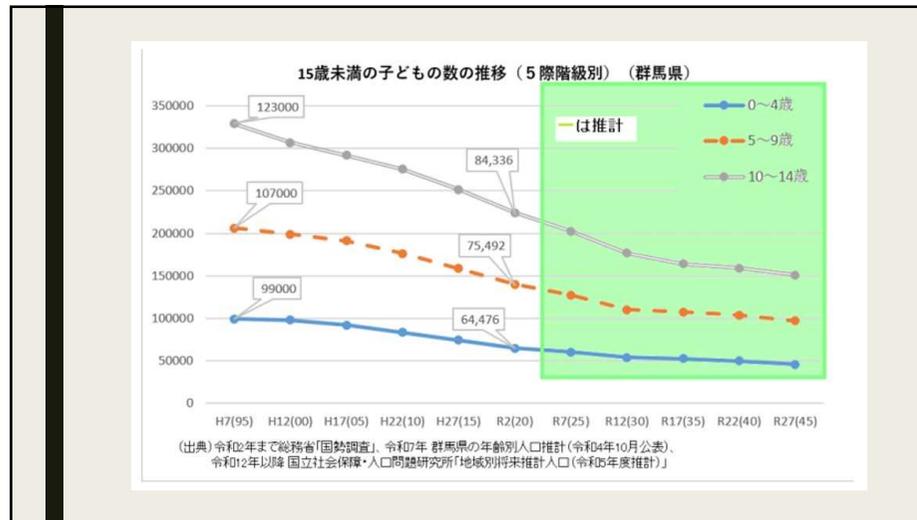
「指示されたことをきちんとやり遂げる力」

<これから・・・>

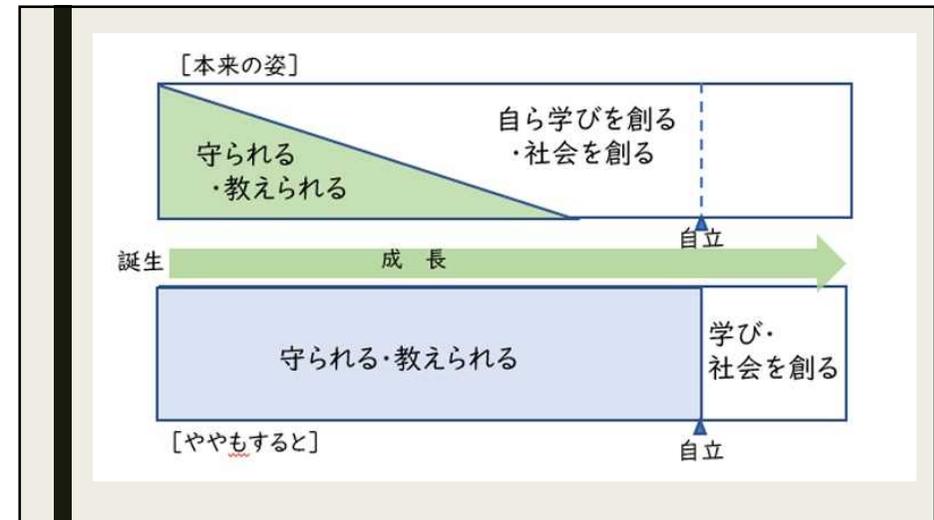
自らの頭で考え、身につけた知識・技能を
組み合わせながら、周りの人たちと対話を重ね
協力しながら解決へと導いていく力

7

8



9



10



11



12

①問題解決的な学び

《取り入れたい場面》

自己決定

対話交流

試行錯誤

②伴走者としての教師の役割

見守りつつ、適切な支援を行う
(問いかけ・発問)



17

①問題解決的な学び

自己決定

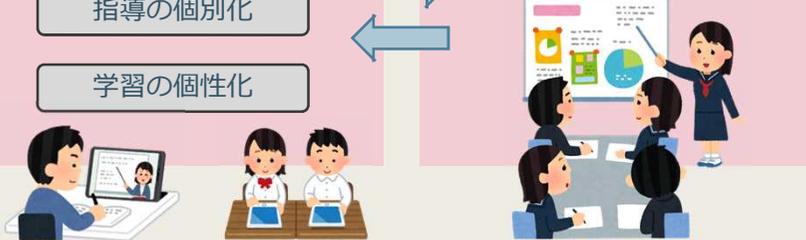
対話交流

【個別最適的な学び】

指導の個別化

学習の個性化

【協働的な学び】



18

①問題解決的な学び

対話交流

グーとパー どちらを指しますか？



19

①問題解決的な学び

試行錯誤

学びの主体者(Agency)にはAARサイクルが必要
Learning Compass 2030 by OECD

Anticipation (見通し)

Action (行動)

Reflection (振り返り)




20

②伴走者としての
教師の役割

見守りつつ、適切な
支援を行う
(問いかけ・発問)



エージェンシー

信じて
任せる
そして、待つ

21

4 教師が「～させる授業」から
児童生徒が「～する授業」へ

22

学校教育の指針

～確かな学力の育成～

◎児童生徒が「自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す」中で、資質・能力を育成できるように、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図り、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進しましょう。

各教科等の目標に迫る
「主体的・対話的で深い学び」の実現

教師が「～させる」授業から、児童生徒が「～する」授業へ
エージェンシーを発揮する「自律した学習者」へ

授業デザイン 児童生徒の学び方改善 教師の役割の見直し

教師が「～させる」授業から、
児童生徒が「～する」授業へ

【個別最適な学び】 エージェンシーを重視する 【協働的な学び】

指導の個別化 学習の個性化

日常的なICT活用 ICTを活用した高度学習のシステム
家庭と学校の学びをつなぐICT授業の実践事例 「オンラインでも」地域の人的又は物的な資源を活用しよう
オンライン授業の活用

23

学校教育の指針

授業デザイン	児童生徒の学び方改善	教師の役割の見直し
<input type="checkbox"/> 日常生活や社会と関連した単元・題材を構想する <input type="checkbox"/> 問題解決的な学習、探究的な学習を重視する <input type="checkbox"/> 自己決定、対話・交流、試行錯誤の場面を授業の中に取り入れる	<input type="checkbox"/> 児童生徒が自分たちで追究すべき課題を設定する <input type="checkbox"/> 課題解決に向けて、あきらめずに繰り返し挑戦する <input type="checkbox"/> 児童生徒が自らの学びを自覚できる振り返りをする	<input type="checkbox"/> 学習のゴールを共有し、伴走者として支援する <input type="checkbox"/> 児童生徒が学び方を自己選択できる環境の整備をする <input type="checkbox"/> 児童生徒の学びの姿を適切に見取り、フィードバックする

信じて 任せる そして、待つ

24

させる授業？ する授業？

- 「今日は～してほしいと思います。」
- 「今日のめあてはこれです。」
- 「それはまだ言わないでね。」
- 「～さんがいいことを言ってくれました。」
- 「今日の勉強は、わかりましたか？」

25

児童生徒が「～する」こと

児童生徒が自分たちで追究すべき課題を設定する 

課題解決に向けて、あきらめずに繰り返し挑戦する 

児童生徒が自らの学びを自覚できる
振り返りをする 

26

児童生徒が自分たちで追究すべき課題を設定する 

○比較する

- ・昨日の問題と今日の問題
- ・Aの写真とBの写真
- ・自分の作品とお手本

27

<算数の例>

本時

め

$$302 \times 5 =$$

ま

前時

め

3桁×1桁の筆算は、
どのようにすればよいだろう？

$$312 \times 5 =$$

312

× 5

1560

ま

3桁×1桁の筆算は、2桁×1桁
の筆算と同じように一の位から
順番に計算する

比較

めあてとまとめ
を正対させる

28

<理科の例>

9時のかげの写真

15時のかげの写真

めあてとまとめの正対

比較

め なぜ、時間によってかげの位置が変わるのだろう

ま 時間によってとかげの位置が変わるのは、太陽が東から西に動いているからだと考えられる。

29

□課題解決に向けて、あきらめずに繰り返し挑戦する

粘り強さ

自己調整

30

□児童生徒が自らの学びを自覚できる
振り返りをする

関心・意欲・態度

主体的に学習に取り組む態度

最後の発表では、よい合奏にすることができて、とてもうれしかったし、楽しい思いがありました。

思ったよりも音が弱かったです。鍵盤ハーモニカを使えばもう少し強い音になったかなと思いました。

粘り強さ

自己調整

31

教師の役割の見直し

- 学習のゴールを共有し、伴走者として支援する
- 児童生徒が学び方を自己選択できる環境の整備をする
- 児童生徒の学びの姿を適切に見取り、フィードバックする

信じて

任せる

そして、待つ

32

単元構想

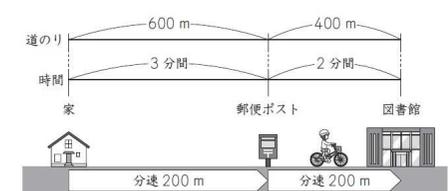
教材研究

寄り道も含めた
間違いを想定する力



全国学力・学習状況調査の回答類型

(4) たけるさんは自転車で、家から郵便ポストの前を通過して図書館まで行きました。家から図書館まで、5分間かかりました。



家から郵便ポストまでは、道のりは600 mで、3分間かかり、速さは分速200 mでした。
郵便ポストから図書館までは、道のりは400 mで、2分間かかり、速さは分速200 mでした。
家から図書館までの自転車の速さは、分速何 m ですか。
答えを書きましょう。

全国学力・学習状況調査の回答類型

解答類型

問題番号	解答類型	正答
4 (4)	1 200 と解答しているもの	◎
	2 400 と解答しているもの	
	3 24 と解答しているもの	
	240 と解答しているもの	
	28 と解答しているもの	
	280 と解答しているもの	
	4 80 と解答しているもの	
	5 0.005 と解答しているもの	
	6 1000 と解答しているもの	
	99 上記以外の解答	
0 無解答		

80

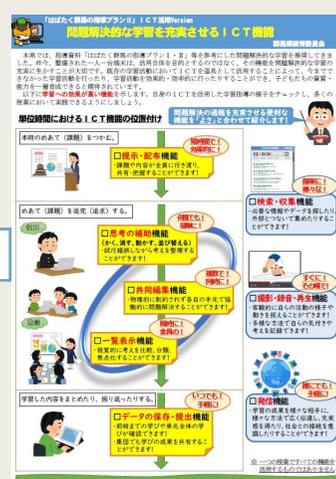
← 解答しているもの

ICT活用

問題解決的な学習を充実させるICT機能

- 提示配布機能 (短時間で! 効率的に!)
- 思考の補助機能 (何度でも! 簡単に!) ← 試行錯誤
- 共同編集機能 (複数で! 同時に!)
- 一覧表示機能 (瞬時に! 全員の!)
- データの保存・提出機能 (いつでも! 手軽に!)

検索・収集機能 (簡単に! 様々な!)
 撮影・録音・再生機能 (すぐに! その場で!)
 発信機能 (誰でも! 手軽に!)



自身の授業を省察 (Reflection)する力

- ねらいの達成状況は？
- 「～させる」授業になっていないか？(教師の発話量)
- 自己決定、対話・交流、試行錯誤の場面があるか？
- 児童生徒の振り返りの時間は十分確保できたか？



37

本日のまとめ

- エージェンシーは誰の中にもある
 - ・信じて、任せる そして、待つ
- 教師が「～させる」授業から、
児童生徒が「～する」授業へ
 - ・間違いを想定する力
 - ・自身の授業を省察する力

38

本日の振り返り

・ 自己調整

・ 粘り強さ

39

5 おわりに

40